

平成29年3月15日

北海道新聞

ミニトマトの歌 CD化

新ひだかの阿部さん作「太陽の瞳」

【新ひだか】町内のシンガー・ソングライター阿部卓馬さん(39)が、町特産のミニトマト「太陽の瞳」をテーマに作った同名のオリジナル曲が今月、CD化された。6年以上前の曲だが、ライブを通じて人気を広げ、シングルになった。太陽の瞳を生産するJAしずないも、公認曲として応援する。
(飯島秀明)

ライブで人気 JAしずない公認曲に

阿部さんは町内三石地区出身で、北大在学中に作曲を始め、現在は地元でミニトマト生産など農業に携わりながら音楽活動を続けている。

曲の「太陽の瞳」は農家の友人に勧められ制作。2010年のしずない農業まつりで発表した。爽やかな

メロディーに乗せ、「太陽の瞳を食べて みんなが笑顔になるように 新ひだか町 心を込めて作ったそれが太陽の瞳」と生産者の思いを歌っている。

ライブで歌い続けるうちにファンからCD化の要望が寄せられるようになり、今年1月、名付け親のJA

しずないに相談。了解が得られ、公認曲として3月11日に発売した。CDジャケットはびっしり並ぶ真っ赤な太陽の瞳。JAも、太陽の瞳の出荷先の道外市場にCDを送る考えた。

阿部さんは「自分で作業に携わり、生産者のごとも分かっているので、すんなり

り出来上がりました。太陽の瞳というブランドは地元の人にも意外と知らないのが、知名度向上の手伝いができれば」と話している。

町内ではイオン静内店のCDショップやAコープしずない店で扱っている。自作の「日高の路」も入り、1枚1234円。

19日午後8時半、町内吉野町のバー「カバチ」で記念ライブを開く。ワンドリンク付き千円。4月下旬には新冠町でもイベント出演を予定する。詳しくは阿部さんのブログ (<http://blog.goo.ne.jp/abetaku19780107>)。



④ミニトマトの作り手の思いを込めた「太陽の瞳」がCD化された阿部卓馬さん(左)CD「太陽の瞳」

